

市民との意見交換会・報告書

開催地区：城西地区	開催日時：令和7年11月13日（木）18時00分～19時30分
担当班：第2班（出席議員）横山淳、平田久美、長谷川純一、高梨浩、長郷潤一郎	
開催場所：城西コミュニティセンター	
参加人数：男性 8名、女性 0名、合計 8名（他自治体等傍聴者 3名）	

会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など

1. 意見交換の総括

(1) 議会報告、市政全般についての総括

① 9月定例会議について
除雪車運行システムについてどこでそのシステムが管理し、指示しているのか知りたい。

② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について
除排雪についての質問が多数だった。

(2) 地区別テーマについての総括

① 地区別テーマ
地域コミュニティー・若い世代との交流

② テーマ設定の理由、背景
ごみゼロマーチという市内でも先進的な取組を行っている。その取組とそこからの広がりに向けた今後の課題について地域全体で考えてみたいと考えたため。

③ 主な地域課題
地域に受け継がれる祭りなどの行事について活発な意見交換が行われた。
また、今後の取組についても地域全体で議論が深められ、有意義な時間だった。

会津若松市議会議長 様

令和7年11月21日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎

意見交換会第2班 代表者 横山 淳

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
除雪車運行システムは、どこでシステムを管理しているのか知りたい。	除雪車にスマートフォンを置いて、除雪車がどこを動いているのか集中管理している。 令和6年度は、アクセス数が多すぎてシステムが動かなくなってしまった。9月の決算審査でも指摘した。現在は、市で改善するよう進めている。 管理は道路課で行っており、市民の方に見ていただけるようなシステムにしたい。	○	①		雪害対策
高齢化で除雪の協力が十分に得られない地域で除雪応援隊のような組織ができるないか。 雪捨て場にしても、期間限定で借用などできないか。	町内の雪溜め場として町内で空き地を借用するなど、雪溜め場を設置する地域もある。また、冬になる前に役員が、ブルーシートを敷いて、ごみ溜めにならないようにし、春に撤去するという形もあり、町内で工夫をしている。	○	①		雪害対策
今回の豪雪は、災害としての備えを行政と市民が作っていくことでスムーズに対応できるように、防災意識を高めるべきだ。	ご意見として伺う。	○	②		雪害対策
城前の市営住宅が取り壊されたので、次は材木町二丁目の市営住宅が取壊しになると市営住宅の住人が話しているが、時期はいつ頃になるか。	後日確認させていただく。	○	③	後日確認し、報告する。 (事後報告処理書P5に記載)	公営住宅

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 地域コミュニティー・若い世代との交流

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	10月25日、第24回会津若松市環境大賞・環境賞 団体部門を、材木町ごみゼロマーチ実行委員会が 受賞した。この活動を今後全地域に広めるにはどう したらよいか、検討事項として第2分科会に共有 する。				
第24回会津若松市環境大賞では、最優秀賞が会 津乗合自動車株式会社の取組だった。 地域の取組も良い取組だったので、環境大賞を、今後は企業賞や、地域団体賞、個人賞などに 分けてほしい。	ご意見として伺う。 議会モニターとの意見交換会において、高校生 に「若い子が帰りたい所とはどういうところか」と 聞いたところ、祭りが大切だ、特に小さな地区 の祭りが記憶に残ると返答があった。そこで、城 西地区の祭りまたはコミュニティーについての意 見を伺いたい。	○	①		環境
コロナ禍期間に中止していた祭りをやりたいと いう要望があり、急遽櫓を立てて、子どもたちの お囃子もそれに合わせて復活させた。それにより、 地域の活性化が祭りだと感じた。子どもたちを 中心に、親世代、高齢者も祭りの練習を通じて コミュニティーが広まった。	ご意見として伺う。	○	①		地域社会
祭りには、176世帯中30～40世帯しか出てこない。 芋煮会は2回開催している。参加者がいない ことに悩んでいたが、周辺地域のバザーと組み合 わせることによって人が集まるのを知った。 城西地区祭り、もしくは、隣接した町内会の祭 りにすればコミュニティーが広まるのではないか と思った。	地域コミュニティーについて、色々な意見やヒ ントをいただいた。若い世代の方からは、世代間 交流について、人生の先輩方からは、子供や祭り についての意見をいただいた。これはしっかりと 議員が分析し、また、皆さんにお返しして、 キャッチボールしていきたい。	○	①		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 地域コミュニティー・若い世代との交流

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ごみゼロマーチは絶対に世代間交流ができる。高齢者や子ども、その家族が袋を持って、町内のごみを拾うことで、世代間交流になっている。このことを、全市で広めるために一斉清掃の機会を利用すればできるのではないか。	自分の住んでいる地区、子どもたちが集まる行事を大人たちで作ることができれば良いかと考え、夏祭りが復活し、お寺の協力を得て、三十年ぶりに肝試しが復活した。現在では十数年続き、参加者が300人程に広がった。そこでコミュニティーを作りていきたいと思ったが、ゴミゼロマーチなどの活動を通して、世代間交流の先に祭りなどがあればよいと思う。	○	①		地域社会
地区内にスズメバチの巣が4か所できたので、市役所に問い合わせたが、空き家の場合と、住民がいる場合で受付窓口が違うと説明があった。	スズメバチに関しては、環境共生課が担当だが、市民の困りごとは、一旦市民協働課に問い合わせていただきたい。	○	①		環境

市民との意見交換会・事後処理報告書

城西地区

件名	処理（対応）内容	備考
1. 市営住宅の更新について (P 2)	<p>【市民からの要望・質問】 城前の市営住宅が取り壊されたので、次は材木町二丁目の市営住宅が取壊しになると市営住宅の住人が話しているが、時期はいつ頃になるか。</p> <p>【事後処理結果】 質問者に対して、会津若松市市営住宅長寿命化計画を提示しながら、材木町団地の今後の「用途廃止」「建替え」の計画について説明した。 また、現在建替中の、城前団地における住み替えへの市の対応を参考として説明した。なお、実施時期については未定の状況であり、議会に対しても示されていないことを説明した。</p>	

会津若松市議会議長 様 予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎
令和7年11月21日 意見交換会第2班 代表者 横山 淳